第4学年 国語科学習指導案

指導者 三盃 美千郎 場 所 2階4年教室

1 単元名 説明のしかたについて考えよう 教材名「アップとルーズで伝える」

4 指導計画と評価計画(総時数8時間)

時	次	<u> 四乙計価計画(総時数 8</u> 	主な学習活動	評価規準 (評価方法)	平価規準(評価方法) 評価観点			
					関	書	読	言
1	1	「アップとルーズで伝える」を読み、筆者の説明の 工夫に関心をもち、「学校ス ライドショーを作りの手引 書」を作成するという目的 意識をもつことができる。	・実際のスポーツニュース 等の映像から、アップとル ーズの技法を見つける。 ・単元の学習計画を立て学 習の見通しをもつ。	・筆者の説明の工夫に関心を 抱き、「学校スライドショー 作りの手引書」を作成する という活動に意欲をもって いる。(観察・発言・ノート)	0			
2	11	①②③段落を読み,写真 と文章を対応させた表 現方法を理解する。	・①②段落から写真の示す内容や対比されている事柄をとらえる。・①②③段落の関係と、③段落が問いであることを確認する。	・写真と文章の対応関係 をつかみ、「アップ」と 「ルーズ」の意味を理 解している。(観察・発 言・ノート)			0	
3 (本時)		④⑤⑥段落を読み,対比の関係を用いた表現方法を理解する。	・④段落の叙述と写真, ⑤段落の写真をもと に,⑤段落の叙述を考 えることを通して,対 比の関係や④⑤⑥段 落の関係をとらえる。	・対比を用いた筆者の説 明の工夫をつかみ、「ア ップ」と「ルーズ」の 長所と短所を理解して いる。(観察・発言・ワ ークシート)			0	
4		⑦⑧段落を読み,類比の 関係を用いた表現方法 とまとめの表現方法を 理解する。	・⑦段落があることの意味を考える。・筆者の伝えたかったことについて話し合う。	・⑦⑧段落の、ほかの段落と の関係をとらえ、「アップ」 と「ルーズ」の使い分けを 理解している。(観察・発 言・ノート)			0	
5		全文を読み返して段落 の役割をとらえ,文章全 体の構成をつかむこと ができる。	・文章構成図を作り、大きなまとまりのつながりや文章構成全体をとらえる。	・段落相互の関係を理解 し、文章全体の構想を つかんでいる。(観察・ 発言・ノート)				0
6	111	「アップ」と「ルーズ」 の例を見つけ, 説明する うえでのよさを考える ことができる。	・新聞,雑誌での「アップ」と「ルーズ」の使われ方を確かめ,その意図を考える。	・実際の例から使われ方 を見つけ、意図とよさ を考えている。(観察・ 発言・ノート)			0	
7		説明のしかたの工夫に ついてまとめることが できる。	・筆者の説明の工夫を確認し、「学校スライドショー作りの手引書」として、自分で撮った写真を使ってまとめる。	・写真と文章の対応,対 比した表現のよさに気 づき,ワークシートに まとめている。(観察・ 発言・ワークシート)			0	
8		説明のしかたの工夫に ついて報告し合い,学習 をまとめる。	・各自の「学校スライド ショー作りの手引書」を 発表し合い、説明のしか たについてまとめる。	・友達の発表からも,写真と 文章の対応,対比した表現 のよさについて気づき,ま とめている。(観察・発言・ ノート)			0	

※「学校スライドショー手引書」に用いる写真は、第1次終了後、課外において各自で撮り、ためていく。

- 5 本時の学習(第3時)
- (1) ねらい ④⑤⑥段落を読み、対比の関係を用いた表現方法を理解する。
- (2) 評価規準 読 ④⑤⑥段落相互の関係をつかみ、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を理解して いる。
- (3) 準 備 ワークシート, 教科書の拡大コピー

(4) 展 開

過程 学習活動と予想される児童の反応 前時の学習とのつながりから課題をとらえる。 1 カコ 課 ④⑤⑥段落で、アップとルーズの違いを説明するため む 題 の筆者の工夫をさがそう。 5 2 ④段落を読み、筆者の説明の工夫をとらえる。 ○④段落では,筆者はどんなことを説明しているかな。 える ・アップで分かる選手の様子。 アップの長所と短所を ・細かい部分の様子。 5 アップで分からないこと。 説明する工夫 3 ④段落での筆者の説明の工夫を参考にして,⑤段落の説 明を自分なりに考える。 ○⑤段落をあなたならどんなふうに書きますか。 チがよく!! 手もいま おうえん席は、 かし、一がよくがなく を ŧ 様 選 囲のげている。 子 手 一 んなあ人 分の 学び合う か様 ・ ④段落に具体的な様子が書いてあるので、写真からわかる 選手やおうえん席の具体的な様子を書く。 $\widehat{25}$ ④段落では、「細かい部分の様子がよく伝わる」と書いて あるので、ルーズでは反対に書く。 ④段落では、「写されていない多くの部分のことは分かり ません」とあるので、ルーズでは反対のことになるから、 「写されていない部分のことが分かる」と考えた。 ○筆者の説明と読み比べてみて、筆者の工夫をまとめよう。 アップとルーズの写真が比べてはっきりさせてあった。 分かることと分からないことを比べて書いていた。 アップとルーズのことを比べて書いていた。 アップ: [わかる]細 かい部 分⇔[わからない]写されていない多くの部分 ルーズ:[わかる]広い範囲の様子⇔[わからない]細かい部分 ⇒比べて違いをはっきりさせることを「対比」という。 4 ④, ⑤, ⑥段落の段落相互の関係についてとらえる。 ○④⑤⑥段落の役割を考えよう ・④段落でアップの説明、⑤段落でルーズの説明をしている。 まとめ ・⑥段落は、「このように」とあるので④段落と⑤段落をま とめている。 る 5 筆者の説明のしかたの工夫についてまとめる。 $\widehat{10}$

- 指導上の留意点・ 評価◎ 支援○ ・③段落を読むことにより問題提示
- が行われていることをつかみ,こ の後からアップとルーズの違い について述べられていることを つかむようにする。
- ⑤段落の叙述部分の表記を隠した 教科書 p.32 - 33 (④⑤段落) を 複写したワークシートから考え るようにする。
- ・教科書を見ずに、ワークシートを もとに考え、書くようにする。
- ・グループの学習形態で考えること により,相互に参考にし合える学 習状況をつくる。
- ・三角ロジックで説明させる。その 際には、不完全な発言であって も, 思いを具体化する発問(「例 えば」「つまり」など)を入れて 考えの根拠と理由に目を向けさ せていく。
- ・④段落に立ち返って読み直すこと で文章の構成をつかむ手がかり とさせる。

- ・教科書 p.35 を参照することによ り、用語「対比」をおさえる
- ◎4⑤6段落相互の関係をつかみ、 「アップ」と「ルーズ」の長所と 短所を理解している。読(観察・ 発言・ノート)
- ○「分かります」「分かりません」 の文末表現、「しかし」「でも」「こ のように」の接続詞に着目するよ うにする。

まと

筆者は「アップ」と「ルーズ」のそれぞれの長所と 短所の対比, 写真どうしの対比, 段落どうしの対比を 使って、違いをわかりやすく説明していた。

○明日は、⑦、⑧段落を書いた筆者のねらいを考えよう。

(5) 筋道を立てて説明するための本時の位置づけ

(3) ////(2013) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4									
付けたい力	教師が求める説明	支 援							
文章の細かい点(接続詞,対比的な表現,段落構成,写真と文章の対応)に注意して読んで段落の関係をとらえ,それをもとに説明する力。	⑤段落の文章を考えるにあたり、 自分が考えた文章の根拠となる ④段落の叙述を述べるとともに、 筆者がどのような表現の工夫を つかっていると思うかというこ	不完全な発言であっても,思いを具体化する発問(「つまり」「例えば」など)を入れて,要約を促し,協同的に発言をつくっていくようにする。または④段落							
	とを理由として述べる。	に立ち返って読み直すことで文 章の構成をつかむ手がかりとす る。							

(6) 板書計画

